

脳卒中後の自主リハビリテーションをオンラインにより遠隔でサポートする企業COPA IN(東京都豊島区)が新たに設立された。現在、セラピストによる30分のオンラインカウンセリングを無料で受けられるキャンペーンを先着30名限定で行っている。

まず、セラピストが問診を行い、その人の身体状況や最終的な目標などに応じて専用のトレーニング動画を制作する。

利用者はその動画を見ながら自主トレーニングを実施。同時にチャットを用いて利用者は日々の報告や質問を行い、セラピストはそれに対してアドバイスや励ましなどを行う。1回30分のWebリハビリも月に2回実施し、その際に自主トレーニングの効果などを判断して

## 脳卒中リハビリ オンラインで

### 個別トレーニング動画を作成

新たな動画を作成す

## チャットで専門家が応援

COPA IN



▲トレーニング動画の一例 (同社ホームページより)

る。動画は、初回月は3本、2ヵ月目以降は月に1〜2本程度追加または差し替えを行う。さらに、自由参加のオンライングループレッスンとしてヨガインストラクターによる「笑いヨガ」などを月に2回(1回30分)受けることも可能。

このサイクルを毎月繰り返すことで、専門的・個別性の高いリハビリ指導を継続して行うことが可能となる。

料金は、「スタンダードプラン」が月1万8920円(税込・以下同じ)。それに週に1回のリハビリ結果のレポートがつき、効果の振り返りが行える「プレミアムプラン」が月2万1920円。また、オプションでリハビリ科の医師による30分のカウンセリング

を1回7700円で受けることができる。同社は社長自身が41歳のときに脳梗塞を発症、その後リハビリ・自主トレを経て就労復帰した経験を持つ。

資格「アンケート調査の結果を発表した。1位は薬剤師で、介護福祉士が看護師に次いで3位となった。以下、医師、獣医師、歯科医師などの順。

薬剤師資格を取りたいと思う理由としては「調剤薬局だけでなくドラッグストアで働くこともでき就職先が広い。時間や休日も比較的自由が利く」「病気になるたびに、病名やその症状などについて

は何となくわかるが、薬についてはわからないことが多い。薬の知識があれば安心できる気がする」など。

介護福祉士の資格を取りたい理由としては「今、50代だが、今からでも資格を取れば仕事ができるようになりそう」「今後AIなどの発達で無くなる可能性がある仕事が多い」と言われる中、必要はないと思わないと思う」など。

このアンケートは今年9月にインターネットを通じて実施。回答者の男女比は、女性71人・男性29人。

# 8割の病院が基準クリア

## 「医師の働き方改革」アンケート

全国保険医団体連合会(保団連・東京都渋谷区)は12日、2024年4月より本格開始される「医師の働き方改革」に関するアンケート調査の結果を発表した。76.8%の病院が「病院における時間外・休日労働時間の上限を、全勤務医が毎月クリアしている」と回答している。

## 他職種へのタスクシフトがカギ

### 全国保険医団体連合会

#### コロナ対応で 残業など増加

この調査は今年8月に各都道府県の保険医協会を通じて、原則として会員のいる病院の院長・事務長あてにフックスで調査票を送ったところ(複数回答)で、736病院が回答している。

「病院における時間外・休日労働時間の上限をクリアできていない月がある」と回答した病院にその理由を尋ねたところ(複数回答)で、

「答」、最も多かったのは「医師数そのものが不足」。以下、「新型コロナウイルス感染症対応で残業・休日出勤が多い」「委員会・研修などの要件増加」「診療報酬が抑制されて原資が少ない」の順となっている。

「医師の働き方改革で実施している・実施を予定している取り組み(複数回答)」では、「事務職員へのタスクシフト」がトップとなった。これ以外にも「看護職員へのタスクシフト」が5位、「薬剤師へのタスクシフト」が6位となっており、病院業務の中で医師以外にも可能な業務については適時他職種

### 働き方改革で実施・予定の取り組み (複数回答)

	全国 736 病院	割合
事務職員へのタスクシフト	347	47.15
医師の増員	275	37.36
職場環境・勤務環境の定期的な点検、改善	255	34.65
ICT等の技術を活用した医師の業務の効率化	227	30.84
看護職員へのタスクシフト	216	29.35
薬剤師へのタスクシフト	176	23.91
地域の他の医療機関との機能分化・連携強化	142	19.29
複数主治医制の導入など、医師間での業務の共同化	135	18.34
医療法や診療報酬の委員会、職員研修等の運営の合理化	124	16.85
診療時間の短縮や医療機能の縮小	89	12.09
医師の働き方に関する患者への周知	53	7.20
公的支援・補助金の活用	53	7.20
NA	33	4.48

出典：全国保険医団体連合会

「医師の増員」(2位)、「職場環境・勤務環境の定期的な点検、改善」(3位)、「ICT等の技術を活用した医師の業務の効率化」(4位)となっている(表参照)。

改革実現に向け 診療報酬増求む

また「医師の働き方改革を実現するために必要なこと」(複数回答)では、「診療報酬の引き上げ」「新型コロナウイルスの収束」「医療法や診療報酬の委員会、職員研修等の運営の緩和・合理化」などが上位となっている。

今回の調査結果について

その上で今後必要となる施策として「医師の増員」「医療法や診療報酬の委員会、職員研修等の運営の合理化」「個別指導や適時調査の簡略化」「タスクシフト」「職場環境・勤務環境の改善」「診療報酬の引き上げ」などを掲げている。

## 薬剤師が1番人気 「取りたい医療資格」

### 「取りたい医療資格」

Webメディア「電資格」アンケート調査の結果を発表した。1位は薬剤師で、介護福祉士が看護師に次いで3位となった。以下、医師、獣医師、歯科医師などの順。

薬剤師資格を取りたいと思う理由としては「調剤薬局だけでなくドラッグストアで働くこともでき就職先が広い。時間や休日も比較的自由が利く」「病気になるたびに、病名やその症状などについて

は何となくわかるが、薬についてはわからないことが多い。薬の知識があれば安心できる気がする」など。

介護福祉士の資格を取りたい理由としては「今、50代だが、今からでも資格を取れば仕事ができるようになりそう」「今後AIなどの発達で無くなる可能性がある仕事が多い」と言われる中、必要はないと思わないと思う」など。

このアンケートは今年9月にインターネットを通じて実施。回答者の男女比は、女性71人・男性29人。

# ころやわ

分割できて設置が楽々

スロープ仕様で移動もスムーズ

転んだときだけ柔らかい置き床

転倒時のみ 柔らかい

骨折リスクの低減

設置簡単 工事不要 床に置くだけ!

転んだときだけ柔らかい置き床

hard soft

EXCELLENT CARE

株式会社エクセレントケアサポート

Tel.075-744-6512 Fax.075-744-6547

〒600-8025 京都市下京区河原町通松原上清水町280-1

受付時間 (月~金/9:00~18:00) https://excare-s.co.jp/